

目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第41号 2008年 12月

発行人：八幡和三四 編集長：服部 尚彦 事務局長：吉田 博行
事務局：〒153-0053 目黒区五本木2-47-5 Tel 03-3713-2096

新会長挨拶

八幡 和三四

このたび、目黒稲門会長をお引き受けすることになりました。

初代眞仁田勉会長の作り上げた土台を、第二代加藤栄護会長が育て上げ、成長してきた目黒稲門会の会長をお預かりする責任の重さを身に沁みて感じております。

目黒稲門会に参加して思うことは、早稲田大学で学んだということを共有するだけで、これほどまでにザックパランに話し合えるようになるのかということです。そこには、垣根もなく遠慮もない世界があります。この素晴らしさはさらに伸ばしていきたいものです。



当会の活動を支えているのは、各部会の活動です。囲碁・カラオケ・麻雀・ゴルフ・よん月・ウォーキング・グルメ・美術歴史鑑賞・旅行・俳句・目黒稲門若手と揃っていて、広報編集委員会が潤滑油になり運営されています。今後さらに、会員全員がその運営に参加するようになればと思っています。さらに新規分野の演劇鑑賞・古典文学鑑賞(例えば源氏物語、万葉集など)の道を拓く方の出現を期待しております。

我々は、機会があるごとに「早稲田大学校歌」を歌います。そのとき全ての煩惱が消え、青春に戻ることができるのです。また駅伝・ラグビー・野球・サッカーなどで懸命にプレーする後輩を見るとき、心の底まで洗われることを感ずることができます。この幸せを続けるためにも、目黒稲門会の充実をめざしたいものです。会員のみなさまのご協力と、ご支援をよろしく願いいたします。

以上

2009年 新年会開催のご案内

2009年新年会を1月17日(土)「こまばエミナース」において下記の通り開催します。

2009年は当会発足10周年の記念の年を迎えます。

7月11日(土)に予定されている第10回記念の定時総会は、盛大な祝賀総会とすべく今から企画立案が進められております。その前触れともなる今年度の新年会には従来以上に多くの会員とご家族の皆様をお迎えして盛大に新年を祝い親睦の輪を広げたいものと願っておりますので、積極的にご参加ください。

恒例の第一部講演会は、当会相談役の阿部喜久雄氏にお願いし、『吾、基より生還を期せず「学徒出陣」』と題して貴重な体験談を伺う事に致しました。

阿部相談役はご存知の方が多いと思いますが、当会発足の初期の会報「EXPRESS」の発行に合わせて、「太平洋戦争そして学徒出陣——戦中派の思い出の記」と題し、4回に分けて40,000字を越える寄稿文を頂いております。4分冊をお持ちの方は再度目を通されると阿部相談役のお話は一層興味深く伺えるかと思えます。

なお、毎回ご案内しておりますが、年会費をご負担されながら当会自慢の諸活動の何れにも参加されていない会員の方々には、この新年会を契機に思い切って参加される良い機会と思われますので、是非ともご参加下さいませ様お待ちしております。

記

目黒稲門会 2009年新年会

1. 日時：2009年1月17日(土) 16時開会
(受付開始 15時30分)

2. 場所：こまばエミナース

目黒区大橋 2-19-5

電話 03-3485-1411

井の頭線 駒場東大前駅

下北沢寄り改札口徒歩7分

3. 送迎バス：当日会場まで以下の時刻表で
マイクロ・バスを運行致します。

① 目黒駅発 15時10分

JR 東口、目黒通り・みずほ銀行前付近

② 中目黒駅発 15時20分

東横線東口、山手通り・ツタヤ前付近

4. プログラム:

(1) 講演会 16時～17時

講師:阿部喜久雄氏(当会相談役)

演題:『吾、基より生還を期せず「学徒出陣」』

(2) 懇親会 17時～19時

5. 会費:8,000円(同伴家族5,000円)

当日会場にてお支払いください。

同封の返信用はがきを12月15日(月)までにご返送下さい。なお、送迎バスをご利用の方は、はがきに上記乗車場所・希望番号を明記して下さい。

(島田 記)

各部会からの案内・報告

囲碁部会

(1) 8月23日、第2回の早稲田大学—高麗大学囲碁交流戦が早稲田大学の校友会館で開催された。目黒から八幡和三郎6段(S.33商)がその品格と風格ある碁風が評価されて、高麗大学の現役学生で韓国女流碁界のトップ趙恵連8段の指導碁を3子で受けられた。



(2) 9月28日(日)、早稲田大学新学生会館で第8回稲穂会囲碁大会が開催された。同会は囲碁会現役(学生)と校友囲碁愛好家との親善囲碁大会であり、東京23区・三多摩地区から60名の囲碁愛好家が参加した。

試合は個人戦でハンディは持ち点制で行われた。目黒からは伊藤源喜初段(S.29理工)、高橋栄一5段(S.54理工)、鶴野洋治1級(S.39商)、保井 正3段(S.34政経)が参加したが接戦をものにできず、実力を出しきれず残念な結果でした。しかし、習い事はおさらい会があって上達するものなので、目黒の段級位者をどんどん大会に送り出したいと考えています。

囲碁部会長 保井 正

ウォーキング部会

9月の鎌倉鶴岡八幡宮・流鏑馬見物では、鎌倉時代の狩装束の射手が、目の前を秒単位で駆け抜けて行くので、見るというより馬蹄音と歓声での雰囲気満喫したひと時でした。(参加者13名)

10月は11名で、何とか急な石段を上り通した吾妻山公園から古刹の寺々巡り。お目当てのコスモスは地球温暖化のせいはいまひとつ。夕刻、相模湾の鮮魚と里の柿、落花生、白や紫の甘藷などのお土産を買い求め、カラオケ披露の宴のメで帰途につく。

(写真は吾妻山公園展望台にて㊤、流鏑馬点景㊦)



<今後の活動予定>

第25回 11月28日(金) 日向薬師から紅葉の

大山寺への巡礼道巡り

—ケーブルカーと徒歩でのハイキング(大山山頂へは登らないコース)—

伊勢原駅(午前10時35分集合)—日向薬師—見晴台—二重の滝—阿夫利神社下社—大山寺—不動前駅(ケーブルカー)—追分駅—大山ケーブル駅—伊勢原駅

第26回 12月15日(月) 北条氏ゆかりの

金沢文庫

—鎌倉武士の文化に触れ金沢文庫の景観美を堪能 京浜急行金沢文庫駅(午後1時集合)—金沢文庫—海の公園—安立寺—瀬戸神社—夕照橋—野島公園—明治憲法起草記念館—野島橋—金沢八景駅

★1月休会

ウォーキング部会長 桑野祐光

よん月会

毎月第四月曜日、都立大学駅から1分の呑川緑道沿いの飲み屋『あっぱれ』で団楽をしております。

会費は3,000円で呑み、食べ、放談自由です。

毎回、20名を越える都合の付いた会員有志が楽しんでおります。飛び入り新人の方も多く居られます。

開始時間は18:00からです。土地柄の話題、まだ部会を利用したことのない方、旅行、健康、趣味、色々な情報交換に最適です。

ストレス発散、健康維持に是非ご活用下さい。

11月24日だけは旅行部会と重なるので休みます。

よん月会幹事 土川俊雄

ゴルフ部会

10月14日に第23回ゴルフ会を静岡県の御殿場ゴルフ倶楽部において行いました。

フェアウェイが狭く、起伏の多い難コースに、午後から雨が降り出し、生憎のコンディションになりましたが、そこはベテランのプレーヤー揃い、右曲球（スライス）、這球（チョロ）、掘球（ザックリ）、界外球（OB）にもめげず、スコアに汲々とせず、一日＜悠々ゴルフ＞を楽しみました。

優勝は大杉邦雄、準優勝は杉浦良充、3位は村上満の各氏でした。

次回は来年4月を予定しています。今回の参加者は23名でしたが、次回はさらに多数の方が参加されますように企画いたします。

ゴルフ部会副部長 大杉邦雄



麻雀部会

(1) 三区連合親善麻雀大会

8月23日（土）、渋谷の麻雀クラブ「スリーハンドレッド」に於いて、第21回三区（目黒・渋谷・世田谷）連合親善麻雀大会が世田谷稲門会主催により開催されました。28名参加による親睦を深めた競技の結果、優勝は渋谷の涌田氏、準優勝は目黒の土方氏、三位は世田谷の山本氏と各稲門会が夫々上位の賞を分けあいました。

(2) 定例麻雀大会

9月28日（日）、武蔵小山の麻雀クラブ「サン」に於いて 第35回定例麻雀大会が開催されました。和気藹々の半チャン4ゲームを制し 優勝したのは長老の藤岡相談役、準優勝は鈴木氏、三位は吉川氏、ラッキー7賞は中村氏でした。

(3) 今後の大会予定

12月14日（日）12:30より、恒例の年末定例麻雀大会を武蔵小山の麻雀クラブ「サン」に於いて開催予定しております。（終了後は近くの中華料理店にて忘年会）また新年第一回の定例麻雀大会は2月15日（日）を予定しております。皆様奮ってご参加ください。

麻雀部会長 松尾洋一

カラオケ部会

コートダジュールに会場を移してより、10月を以って早や5年を迎えます。お蔭をもちまして、順調に滑りだして参りました。最近徐々に参加者が増え、限られた時間内に全員の満足が得られる唄い込みが出来ない状況に到りました。嬉しい悲鳴です。

9月12日（第2金曜日）出席者全員が最低3曲唄える様、提案が出されました。

I. 2部制にする II. 1時間延長

III. 1時間前に開始（4時→3時）

会場の都合もあるので、店長の意見を求めた結果「毎月金曜日・土曜日・午後7時より非常に予約が入る確率が高いので、出来れば（Ⅲ）にして頂きたい」とのこと。1時間の時間料金が加算される事は、当然のこと。また、飲食代もそれに連れて？

当分の間 男性は据置（¥ 3,000）

女性はUP（¥ 2,000）

全員の賛成を得て10月10日（金）より

上記 午後3時～7時 実施致します。

カラオケ部会長 海口昭治

美術・歴史鑑賞部会

八幡前部会長のご指導により私の初仕事として、第21回部会一六本木の国立新美術館「巨匠ピカソ 愛と創造の世界」展の鑑賞を企画いたしました。

11月29日（土）午前9時30分に国立新美術館1階企画展示IE入り口付近に集合。鑑賞後の昼食はどこが良いのか？場所選びに悩んでいます。

今後は大きな美術館だけでなく小さくてもクオリティー高い展示会も鑑賞してみたいと考えています。

いろんなアイデアがありましたらお教えてください。

「知るを楽しむ」をモットーの部会の参加よろしく御願いたします。

美術・歴史観賞部会長 後藤克彦

目黒稲門若手会

大学で過ごす時間はわずか4年+αですが、更に広い世代・広い世界の先輩と共に、人生大学校ともいべき同窓生の輪に入ってみませんか？その第一歩として、若手会へのお越しをお待ちしております。

◆2009年2月21日土曜夜に若手主催の『月島もんじゃ会』開催（ご案内別途）

◆2009年1月の新年会に『若手テーブル』を設定、占拠を計画中。

◆外岡さん、阿部さん、海口さん達の先輩に戦争体験の話聞かせて頂く会の実現を検討中。

今後の活動は目黒同窓の若手を中心に企画し、幅広い年層にも行事に参加して頂く機会を持ち、若手文化との交流も目指したいと思います。

目黒稲門若手会幹事 石川智子

旅行部会

旅行部会では11月24日、25日の一泊二日で（「飛騨高山」と世界遺産「白川郷」を訪ねる旅）を計画しておりますが、旅行部会初めての30名以上の参加があります。本誌が皆様のお手元に届くころにはちょうど旅行中かと思いますが、旅行終了後に改めて旅行記を掲載するとしても、旅行のあらましをお知らせいたします。

* 旅行日程概略

11月24日 目黒駅を専用バスにて出発—首都圏、中央高速経由松本—158号線「本陣平野屋別館」—早い忘年会の夕食

11月25日 朝食後ホテル出発—東海北陸自動車道経由「世界遺産 白川郷」の見学—昼食は平湯温泉にて—再び松本、中央高速、首都高速経由目黒駅（18時頃着）

* 旅を楽しむ

往復専用バスでちょっと時間がかかりますが、ワイワイと楽しい旅を期待しております。旅行部会としても初めての30名を超える参加者全員が満足して帰って来るように最大限の努力をいたします。

取り急ぎお知らせまで

旅行部会長 井村正陽

グルメ部会

毎年恒例の新そば会を麻布十番の更科堀井で開催しました。更科堀井は目黒稲門会員の堀井良造様（1960年政経）がオーナーで、200年以上の歴史がある老舗です。今年も昨年同様二回に分けて開催し、次の様なメニューを堪能しました。（合計34名参加）

- ①玉子焼きと焼鳥 ②茸そば ③そば寿司三種
- ④茶碗蒸し ⑤松茸の天ぷら ⑥手打ちの新そば
- ⑦更科そば、太打ちそば、菊きりそば
- ⑧そば汁子、みつ豆

グルメ部会長 海沼美智子



「俳句部会」設立のお知らせ

目黒稲門会に文芸の花を咲かせる「俳句部会」の設置が先の役員会で承認されました。下記の通り、部会並びに俳句入門講座を開催しますので、皆様の多数ご参加をお待ちしております。

1. 部会（稲門萩会）

- ①開催日時 毎月第3金曜日
15:00～17:00
- ②開催場所 下目黒住区センター第2会議室
- ③参加 自由（当面会費なし）
- ④投句 初回の1月16日は雑詠3句
- ⑤方法 講師は置かず、互選並びに合評中心の句会とする。

2. 「俳句入門教室」の開催

俳句の基本ルールや作句方法を知りたいという方を対象に開催。

- ①開催日時 毎月第3金曜日
13:00～15:00
- ②開催場所 下目黒住区センター第2会議室
- ③期間 6カ月（1/16、2/20、3/20、4/17、5/15、6/19）
- ④参加 自由（会費無料）
- ⑤用意するもの 当面筆記用具並びにノート一冊。ただし、初回テキスト代1000円。
- ⑥6カ月終了後 上記句会にご参加ください。（6カ月終了前の参加も可）

3. 初回開催日 2009年1月16日（金）上記時間参照

4. 参加申し込み

「俳句入門教室」に参加を希望される方はテキスト作成のため、2008年12月20日までに下記電話、FAXあるいはeメールにてお申し込みください。

稲門萩会へのお申し込みはいつでも受け付けております。

TEL / FAX (03) 3717-8328
Mail : ys-sato@k07.itscom.net
俳句部会長 佐藤喜孝

* * *

訂正とお詫び

前号会報（第40号）に下記の誤記がありました。

- 1) p.2 決算報告書表題
正：第9期 誤：第7期
- 2) p.4 この一句（会員俳句）
正：短夜や昔の文をよみ返す 桑野祐光（S.33商研）
誤：短夜や昔のをよみ返す
正：青葉闇いのち育む十二橋 保井 正（S.34政経）
誤：青葉闇いのち育む十二
以上、お詫びして訂正致します。

広報編集委員会

校友会だより

稲門祭盛大に

10月26日に恒例稲門祭が開催され、目黒稲門会はチンドン研究会の協力の下、校友の賑うキャンパス、大隈庭園を幟(のぼり)と下げ看板で新入会員の募集を賑々しく宣伝し、注目を集めて4名の新入会員を迎える成果を収めた。参加会員は各々の任務を持って催事に協力し、終了後駅前高田馬場牧場でお互いの労をねぎらった。



理工学部創設100周年記念

2008年、理工学部が創設100周年を迎え11月9日大隈講堂で記念式典、先立つ10月25日には電気系3学科主催の電気工学会合同大同窓会を西早稲田キャンパスで開催するなど多彩な慶祝行事が行われた。

新入会員



山本賢太郎氏 (昭和36年 政経)
趣味：ゴルフ、競馬 (青葉台在住)
モットーは自由と正義、少年の心で周囲から馬鹿にされております。日本経済新聞、J-WAVEのOB、ジャーナリズム論で奮闘中。



小林 彰氏 (昭和38年 理工)
趣味：切手蒐集 (八雲在住)
フランス語圏に20年駐在しました。早大チアリーダーを応援、チアリーダーの行くところに小林あります。



米田文彦氏 (昭和41年 政経)
趣味：弓道、読書 (洗足在住)
会社生活を終えた近年、目黒に戻り早稲田に出入りする様になりました。活発な活動の皆様に入れて頂きたいと申し込みます。俳句部会で勉強させて戴ければ幸いです。



岩崎春雄氏 (平成12年修 法研)
趣味：旅行、散歩 (自由が丘在住)
銀行在職中に2年間早稲田大学法学研究科更に、2年間研究生としてお世話になりました。現在日本橋稲門会(法曹人の集い)の幹事を務めています。皆様との交流がとても楽しみです。

会員の広場

ロンドンに暮らす

大杉邦雄 (昭和40年 法)

私は1990年—1995年、2005年—2007年の2回に亘って8年間ロンドンに滞在した。この期間中はことのほか宗教がらみの紛争や問題が多発した時期でもあった。ボスニア紛争、チェチェン紛争、イラクやパレスチナ問題、北アイルランド問題、2005年7月のイスラム教過激派によるロンドン地下鉄、バス爆破事件等々、紛争やテロに関するニュースが毎日のようにTVや新聞で大きく報道されていた。

2001年9月の米中樞同時多発テロ以来、テロといえはイスラム教過激派という概念が定着しつつあるが、従来英国では、テロといえは間違いなくIRA (Irish Republican Army、北アイルランド共和軍、カトリック系過激派)のことを指していた。

本稿では、ロンドンに住んでいたときに一番身近な問題であった北アイルランドの問題について、またアイルランドとはどんな国なのかその概略を記してみたいと思う。

アイルランドといえは<庭の千草><ダニー・ボーイ>といった歌が親しまれているが、その割にはこの国の実情は一般に知られていない。たとえばバーナードショー、オスカーワイルドといった20世紀の代表的な作家がイギリス人と思っている人が多いと思うが、これらの文学者はいずれもアイルランドが誇るこの国の作家である。また早い時期にわが国を西欧に紹介した日本のよき理解者としてラフカディオ・ハーン(小泉八雲)を忘れるわけにはいかない。この国の人口は約400万人であるが、全世界で7,000万人を超えるアイルランド系の人々が住んでいる。アメリカ大統領になったジョン・F・ケネディもロナルド・レーガンもアイリッシュであった。

イングランドは古くからアイルランドを支配下に置こうとさまざまな力を行使してきた。1171年、ヘンリー2世が軍勢を率いて上陸・植民地化が開始された。(爾来アイルランドは800年の長きに亘って他民族の支配のもと、独立を求めて長い苦しい闘いの歴史を歩むことになる。)17世紀に入り、イギリス人のアイルランド入植は加速し、プロテスタント教徒がカトリック教徒の土地を奪って住みはじめた。

1921年、アイルランド32州のうち26州が自治領<アイルランド自由国>となり翌年独立。残りの北部6州が<北アイルランド>として英国の一部に留まった。北アイルランドの人口160万人の3分の2にあたる100万強がプロテスタント、残りの3分の1がカトリックである。

北アイルランドでは多数派を占めるプロテスタントは、歴史的経緯により政治的・経済的・社会的にカトリック

クよりも優位に立ってきたため、アイルランドが独立して現状が変わることを望まなかった。そのみか、もし北アイルランドが南と一緒にあってアイルランド全土が共和国になれば、プロテスタントはカトリックが圧倒的多数を占める国の中で、少数派に転ずることになるから、これまでの特権的地位が失われることを恐れた。このため彼らはイギリスとの連合《ユニオン》の継続維持を求めた。これに対し、イギリスからの分離独立共和国建設を目指すカトリックは民族主義者という意味で《ナショナリスト》と称される。

1969年カトリック、プロテスタント両派間の武力衝突が激化、英国軍が北アイルランドに駐留することになるが治安は悪化の一途を辿った。この後英国内外でナショナリスト陣営のIRAによるテロの嵐が吹き荒れる。またプロテスタント側の過激派もテロを展開、双方でたくさんの血が流された。

90年代に入り雪解けの気配が見られるようになる。1993年アイルランドのレイノルズ首相と英国メジャー首相は《北アイルランドの平和的解決を目指す英・アイ共同宣言》を発表、その後97年に平和的解決に熱心なブレア労働党内閣が成立後、IRAが再度停戦に応じたので、和平への動きが加速した。

2005年7月には、IRAが武装闘争の放棄を宣言、2007年5月、英政府による北アイルランド直轄統治は終了し、北アイルランド自治政府が再開された。併せて北アイルランドで38年間続いた英軍による警察支援のための軍事活動が終了した。1969年以来、30年に亘って続いてきた北アイルランドの紛争の犠牲者は死者3,000人、負傷者は2万人を超えている。（了）

私とマンドリン

吉田成孝（昭和37年 政経）

私がマンドリンと出会ったのは何才だったのだろうか、今いくら思い出そうとしても思い出せない。小学校の時にマンドリンを抱えてポツポツと弦を弾（はじ）いていたのは何となく憶えているので、おそらく小学校高学年だったと思う。母がマンドリンをやっていたそうで家に楽器があったのだ。

本当に病みつきになったのは中学三年の時で、高校への受験勉強の合間に、当時流行り出した外国の曲や日本の流行歌を弾くことで面白くない勉強を少しでも精神的に楽にしようとしたのが始まり。ただ、どちらかというと勉強より楽器に傾きがちで家にいる時間の半分以上これにとられており、勉強の方はサボっていたのは確かである。これも受験勉強という実に面白くないものがあったからであって、これが無かったらマンドリンをやっていたかどうかは分からない。

高校時代もこの傾向が続き、学校では演劇や児童劇に入れ込んでいたが家に帰ればマンドリンだった。劇の途中で台詞をトチるとか、ひどい時には忘れてし

まって立往生するなど何かまずい事、気に入らない事があっても、家に帰ってマンドリンを弾けばいやな事はサッパリ忘れてしまえる。

早稲田の入学式の日、学内をブラついていてマンドリン楽部（倶楽部でも学部でもない）の部屋を見つけた時は胸がドキドキした。

その場で入部申し込みをしたので、おそらくその年で第一号の新入部員だったのではなかろうか。それから四年間、途中70年ナントカに傾いて二ヶ月間くらい国会前に連日のように通ったのを除いては、殆ど毎日のように部屋でマンドリンを弾いていた。

その時の同期で中心をしていた仲間とは、今関西にいる二人を除き数年前から再び合奏をやっているし、別に同窓の楽部のOB連中とも合奏をやっている。

ところが合奏を始めて一年半経った時、私にとって大事件が起こった、というのは六年前の春に脳梗塞にやられてしまったのである。ご存知脳梗塞にはいろいろな発症の形があるが、私の場合は右半身不随になった。頭の方は皆さんかなりおかしいと思われるかもしれないが、本人は殆ど影響なかったと思っている。入院三ヶ月で、その間毎日かなりの量のリハビリ運動をやったが退院時も右手足は相当動きが悪く、食事も本来右利きなのに左手でスプーンを持って食べるくらい。字も殆ど書けないし、歩くのはステッキか家々の堀を伝って緩くりと歩くと言う状態。マンドリンなど全く弾けなくなってしまった。

それから六年半、指に持ったピックを弦に当てるという初心者以前の状態から練習を始め、現在はなんとか曲が弾けるようになった。老後の趣味にはマンドリンを弾いて過そうと、それとなく考えていた私にとって、マンドリンを弾く楽しみを奪われたというのは堪えられない辛さであったが、何とか合奏もやっていけそうな感じが戻り、また楽しくなってきたように思う。リハビリについても私なりの秘訣を見つけたがそれは秘密、まあこれからも頑張る積りです。

ラストゲーム・最後の早慶戦の感動を綴る！

安藤嘉昭（昭和42年 法）

夏の甲子園の高校野球が始まる前日に試写会の機会を得て妻と観賞した「ラストゲーム・最後の早慶戦」は、私にとって久しぶりに感動を覚えた映画でした。

試写会が終りこの作品の脚本家とのトーク。

この作品が脚本家、演出家、演技者、そして関連する大学の関係者、撮影に協力した上田市など、多くの人々のそれぞれの「想い」や「努力」や「生き方」を一つ一つ積み上げて、作り上げた作品であった事。それがこの映画が見る人々に感動を与えている原点である事を知りました。

この映画に込められたそれぞれの「想い」や「心づかい」がこの作品の感動につながったものと思います。

最初の感動は、戦争場面无しに「戦争が人々に強い苦悩や痛み」がこの映画の場面から十分に伝わってきた素晴らしさでした。

親子の別れ、友との別れ、死の恐怖を表現する事はばかれ、本音が言えず親子で責め合う不幸！間違った戦争での庶民の苦悩が伝わって来ました。

今、戦争体験のない世代が圧倒的に多くなってきています。今の幸せがこのような人々の犠牲や苦悩があって初めて成り立っている事実を伝えられる映画ではないか？ぜひ世代を超えて見て欲しいと感じました。

主人公の兄が戦死し「空の遺骨箱」の話が出てきた場面では、私も父を戦死で5歳の時に亡くし、戦後芝の増上寺で石ころも入っていない「空の箱」を今は亡き母と共に受け取った事。その遺骨箱に母が出征時に切っておいた「父の爪と髪の毛」を入れて埋葬した事実が思い出され、戦争の犠牲者にとり感慨深いものとなりました。また、全編に流れる若人のエネルギーや純粋さは、何時の時代でも変わらず、これを支える大人が早慶の両校におられた事は、素晴らしい事でした。このような先輩や多くの方々の努力が「伝統」を築き、守られて来た事を感じ、早稲田マンの端くれとして感動を味わいました。

圧巻はラストゲーム・最後の早慶戦の終了後の両校の応援団席の応援歌と校歌の斉唱！早稲田が「陸の王者」を、慶應が「都の西北」を。

ジーンと来てしまい涙が自然と溢れ、ふと見ると隣の妻もハンカチを目に涙でした。

「人間万歳」「若さ万歳」「早稲田万歳」「慶應万歳」この話の元を作り上げた飛田先輩、小泉塾長ほかの関係者の方々に万歳！映画の持つ意味！映画の役割の重要性を久しぶりに感じた、感動の1時間半でした。

リレー随筆

大海へと向かう若い魂

中西千可子（昭和51年 文）

子供たちはご両親の愛に育まれ成長をしていきます。そして何時か大きな海のような社会に巣立っていくための力となる教育を受け、知識と知恵を身につけていくのです。しかし、時には勇気や忍耐力や自信を失い、横道にそれたり、座り込んだりしてしまう子供もいます。私はそのような子供と共に時を過ごし、一緒に戦うことで、彼らが目指す大海に無事に出発できるように、一人の教師として、河口付近で彼らが氾濫したり停滞したりしないように道標となる「土手」の役割をしたいといつのまにか願うようになりました。そして、亡き母の創立した学習塾で、気がついてみれば、もう37年も教えているのです。

ほとんどの授業が個人レッスンですから、今までに

巣立っていった生徒たちは二百名を少し超えるくらいです。ただ対象は幼稚園から大学院生まで幅広いので、長い子で12年間教えたりしています。今年の春に立教大学に進学した子などは小学一年から高校三年まで教えていました。一人一人が自分の子供のように大切な存在です。各自の問題点に合わせてプログラムをたてるので、柔軟な対応ができるということで様々な子供たちが駆け込んできます。しかし、残念ながらこの10年間ほど、かなり深刻な問題を抱えたケースが多くなってきていることを現場で痛感し胸が痛みます。実際の例をあげますと、極端な学力不足、不登校などです。

学力不足は小学校で習得すべき基本的な知識がほとんど抜け落ちているのが原因だったりします。最近になってやっと文部科学省の「ゆとり教育」の方針が修正されました。その「ゆとり教育」のせいばかりではないでしょうが、基本的な読み書き、計算（特に分数など）が出来ないまま中学に進学する子供が増えているように感じます。そのような生徒の一人によると、小学校の授業中何人かでいつも抜けだし、お菓子を食べていたが、自分たちは先生に見放されていたから探しにもいっしょじゃなかった。クラスにいないほうが平和に授業を進められると思われていたらしいとのことでした。もちろん、これは一つのケーススタディにしかすぎませんが恐ろしい事実でもあります。また中高一貫教育校に合格したのはいいけれど、ついて行けなくて行き詰まりそうな子も多くいます。

不登校は本当に増えています。私が関わったケースは中学生以降しかありませんが、当然のように原因は各々違いました。しかし、取えて共通点をあげるなら自分を嫌っている事でしょうか。常に他人にどう評価されるかということに囚われ過ぎて、自分自身を唯一の価値ある存在と確信できないでいる場合が多いようです。時には私の家で食事を共にしたり、一定の期間生活したり、生徒の自室を暮らしやすいように一緒に整理したりなどの取り組みも必要になってきます。しかし、彼らが自分の進む方向を定められたとき、新しい環境の中で生き活きと人生を取り戻していった姿を見ると心から安心します。

いままでお話ししたケースは一年に一人くらいです。大多数の子供は英語が、あるいは国語がといったような不得意科目の克服や、留学や論文のための英語強化などで、楽しく一緒に工夫して学んでいます。

卒業して30歳になろうとしても、未だにいろんな相談に訪れてくれる生徒たちに感謝しながら、これからも変わらず今の場所でサポートする「土手」になりきって一生懸命努めたいと考えています。

部会案内一覧

詳細は本誌の各部会報告をご覧ください、興味をお持ちの部会にお気軽にご連絡下さい。 平成20年12月現在

部会名	部会長 担当幹事	連絡先 電話/Fax	参加人数	当日会費 (年会費ナシ)	活動概要
囲 碁	保井 正		10 数名	500 円	毎月1回 (下目黒住区センター)
カラオケ	海口昭治		15 ～ 20 名	3,000 円 女性 2,000 円	毎月 第二金曜 午後3～7時 (コートダジュール学芸大学店 B1)
グルメ	海沼美智子		20 ～ 30 名	6,000 円～ 10,000 円	年3回程度 リーズナブルな金額 と雰囲気・味の良い店を厳選
ゴルフ	大野利幸		20 ～ 30 名	25,000 円程度	年2回 春秋 目黒通りバスで送迎
ウォーキング	桑野祐光		15 ～ 20 名	なし(各自負担)	シーズン中は毎月1回程度
麻雀	松尾洋一		10 数名	3,000 円	年6回 武蔵小山“サン” および 渋谷“スリーハンドレッド”
美術・歴史鑑賞	後藤克彦		30 ～ 40 名	その都度	年3～4回
旅 行	井村正陽		20 ～ 30 名	その都度	年2回 春秋
目黒稲門若手会	石川智子		10 名程度	5,000 円	年数回 土曜夜 若手の企画に広 い層の参加を期待
よん月会	土川俊雄		15 ～ 30 名	4,000 円	毎月 第4月曜 午後6～8時 〔「あっぱれ」都立大学店〕
俳 句	佐藤喜孝		1 月から 開催	当面なし	毎月 第3金曜 午後3～5時 下目黒住区センター第二会議室 入門教室 6ヶ月間 別項参照
広報編集委員会	服部尚彦	e メール URL	meguro-tomonkai@nifty.com http://homepage3.nifty.com/me96tomon-wasceda/		

目黒稲門会校友会関係委員表

会合名	役職名	最近の会合議題	任期	会合回数	目黒稲門会代表員(2008年度)
商議員会	商議員	商議員会決算報告 役員の選出 大学の政策・ビジョン等の報告	4年(2008.6～2012.5)	1回/年	八幡会長、浅海幹事長、土川副幹事長、 海沼副会長 (会長は必ず参加)
代議員会	代議員	校友会会計報告・役員の選任 大学の近況報告 推薦校友候補者の承認	4年(2008.6～2012.5)	2回/年、他臨時会	保井副会長、大竹幹事、中上幹事、吉田 事務局長 (幹事長 or 事務局長は 必ず参加)
東京23区支部幹事会	支部担当幹事	各区稲門会の活動報告 稲門祭・支部大会関連	1年(2008. 4～2009. 3)	8月を除く毎月	大竹幹事
23区支部事業委員会	23区支部事業委員会	23区支部が関わる各種事業の企画 運営 (23区支部大会等)	1年(2008. 4～2009. 3)	年5～6回	大竹幹事 (23区支部幹事会の幹事会の互選によ る構成)
稲門祭委員会	稲門祭委員	稲門祭・実施に関わる会議	7ヶ月(2008. 4～2008. 10)	期間中3～4回と 稲門祭当日	井村副会長、石川幹事、大杉幹事 (役員会で担当委員を随時決定して校友 会に登録)

目黒稲門会の校友会関連組織と委員

目黒稲門会では校友会組織と連携を取り、母校や関連校友会との意見交換、また母校催事への協力を行っています。

ここでは、会として参加を要請し、代表委員として諸会合に出席して頂いている方々とそれら組織とその目的、近年の議題、参加会員を一覧表として掲げ、会員皆様の一層のご理解とご支援を頂きたいと願っております。(事務局)

HP 便り

皆様から頂いた写真で作るアルバムがあります。
http://meguro-tomonkai.air-nifty.com/whats_new/
是非写真と短文をHP担当にお送り下さい。写真と

標題だけでも結構です。

(小杉 記)

編集後記

今期は部会活動で新しい動きがありました。

俳句部会の創設、新美歴部会長の就任、目黒稲門若手会の新活動計画など新しい動きが期待されます。更に、新年会では阿部相談役の学徒出陣講話、また、外岡相談役が手掛けて居られる「早稲田史 発掘」など温故知新の深みのある活動も目黒稲門会の特徴です。

来年は目黒稲門会も第10回総会を迎えるのでお祝いの企画も練られ始めています。

(服部 記)